横浜市従、東電従業員組合、東京瓦斯工組合、神戸市電従業員組合、窯業労働総同盟、商船同志会が提唱団体となり、二月七日午后一時より芝協調会館にて、総聯合、全国労働、東電、東京市従、東京瓦斯、横浜市従、電気労働、中央一般、東京出版、総同盟、福井労働、東京郊外電鉄、その他（関東俸給生活者組合、関東映画従業員組合、神戸市電、商船同志会）各團体代表出席、更に、日本海員組合、海員協會の傍聴者を加へ全國労働組合会議準備会を結成した。

この全國労働組合会議提唱の趣旨はもとより、現下、分立、割居をこと、するもの労働組合戦線の全的統一を目的とするものなるが故に、従来、大右翼結成の名の下に右翼的組合の結成を企図し、戦線の分裂を恒久化せんとしつゝありとし総同盟その他に対しても種々勤誘に努め特に労働組合戦線統一に熱心なる期待を持つ、日本海員組合に対しては出来るだけ組合戦線統一に共力せられんことを懇談して来たのである

斯かる間に党支持商船同志會は産業別戦線統一結成の旨趣を以て四月二十四日、日本海員組合と合同した。

さうして勢に乗じた海員組合は全國労働組合会議と別個に海員組合は全國労働組合会議と別個に海員組合自ら労働組合統一の前提として、日本労働クラブを設置し、各組合の連絡を密接ならしめんと、旧商船同志会との合同の前後二回に亘つて、全国労働、総聯合、総同盟、官業労働、海員協会等の幹部を各個人的に招待して懇談会等を開催したのである。

而して海員組合の米窪君はこの日本労働クラブに対する私安本と発表したので第五回労働委員会に於てこの米窪安本を検討したる結果該案が、徒らに、第二インターにのみ偏向し、日本無産階級運動の現実性に即せざるを遺憾とし、委員会としては米窪安本反対の意を決定した。

然しながら該米窪安本は単なる私安本として発表されたものなるが故に更に論議修正さるべきものであるから、これが具体的対策決定のために六月二日芝協調会館に於て全國労働組合会議第二回準備会を開催し討論後、全国労働組合会議準備会の参加の各團体は一致的行動することを決定、全日労働組合会議準備会は日本労働クラブの成立に対しては暫く注視観望することゝなつたのである。

たゞこの問題は総同盟、海員組合、大衆党支持労働團体との相互関係と大衆党と社民党との対立、或は合同に関聯するため今日甚しくデリケートな経過を取りつゝあるのである。